

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	イーリスうま			
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 8日		～	令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数)	11名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 8日		～	令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子ども一人ひとりの特性や気持ちに寄り添い、安心して過ごせる環境づくりを大切にしている。また、子どもの「できた」だけでなく、挑戦する過程を認めることで、自信や自己肯定感に繋がる支援を行っている。	・子どもの気持ちやその日の様子を確認しながら、一人ひとりに合わせた声かけや関わりを意識している。 ・苦手なことにも無理なく挑戦できるよう、得意なことや興味のあることを取り入れ、「できた」「やってみよう」と思える経験を積み重ねられるよう支援している。	・子どもの小さな成長や変化を職員間で共有し、一人ひとりの強みをより活かした支援につなげていく。 ・子ども自身が自分の成長や得意なことに気づき、自信につなげられるような関わりをさらに充実させていく。
2	・日々活動（プログラム）を計画、実施することで、集団の中でのルールやコミュニケーション、協調性等を身に付け、将来の地域社会生活を見据えた支援を行っている。	・制作、運動、SST、外出活動など、さまざまな経験ができるよう活動内容を工夫している。 ・活動を通して、順番やルールを守ること、友達と協力すること、自分の気持ちを伝えることなど、集団や社会の中で必要となる力を身につけられるよう支援している。	・地域の行事や交流の機会なども取り入れ、事業所内だけではなく、地域の中でさまざまな人や環境に触れる経験を増やしていく。 ・地域とのつながりを広げ、将来の地域・社会生活につながる経験をさらに充実させていく。
3	・朝の朝礼等で、子どもの様子や支援方法を共有する事で統一した支援行えるよう取り組んでいる。また、保護者とも情報共有を密に行い、一緒に子どもの成長を支えられる関係づくりに努めている。	・朝礼等で子どもの様子やその日の注意点、支援方法について共有し、職員間で共通認識を持って支援できるよう意識している。 ・送迎時や連絡等を通して保護者と日々の様子を共有し、家庭での様子や相談についても聞きながら支援につなげている。	・日々の情報共有に加え、子どもの成長や課題、支援方法について職員間で振り返る機会を設け、より統一した支援につなげていく。 ・保護者とのコミュニケーションを大切にし、家庭と事業所で子どもの成長を一緒に支えていける関係づくりをさらに深めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・子どもの特性や支援ニーズが多様な為、職員一人一人の専門性をさらに高めていく必要がある。また、保護者の抱える悩みやニーズも様々であることから、保護者の気持ちに寄り添いながら、適切な助言や情報提供が出来るよう対応力を高めていく必要がある。	・子ども一人ひとりの特性や家庭環境、支援ニーズが異なり、求められる支援や保護者への対応も多様化しているため、さまざまな状況に応じた知識や対応力が必要となっている。	・研修や事例検討等を通して、子どもの特性や支援方法について学ぶ機会を設け、職員の専門性を高めていく。 ・保護者からの相談や要望について職員間で共有し、保護者の気持ちに寄り添いながら適切な対応ができるよう、職員全体の対応力向上に努める。
2	・施設が広く、大型遊具や様々な活動スペースがある為、子どもたちがより安全に過ごせるよう、日々の環境整備をさらに充実させる必要がある。	・施設が広く、大型遊具や複数の活動スペースがあるため、安全面や衛生面を含め、施設全体の環境を継続して確認・整備していく必要がある。	・施設内の整理整頓や清掃、大型遊具等の安全確認を職員全体で意識して行い、気づいた点を共有しながら、安全で快適に過ごせる環境づくりに取り組んでいく。 ・定期的に施設内の環境を見直し、必要に応じて改善を行っていく。
3	・台風や災害時に備え避難訓練を実施しているが、様々な状況を想定し、職員一人一人が状況に応じて対応できるよう、より具体的な対応方法について共有を深めていく必要がある。	・災害の種類や発生する時間帯、子どもの利用状況などによって必要な対応が異なる為、様々な場面を想定した具体的な対応や職員の役割について、共通認識を持つことが必要と考える。	・災害時の対応や職員の役割、保護者への連絡方法を整理し、マニュアル等を活用しながら職員間で共有する。 ・避難訓練を通して定期的に確認、見直しを行っていく。